

う じ が み じん じゃ 宇治上神社

仁徳天皇の弟である菟道稚郎子(うじのわきいらつこ)を祀(まつ)るために創建されたと伝わる神社。

平安時代に平等院(びやうどういん)が建立されるとその鎮守社(ちんじゆしゃ)となり、それ以降、地域の住民の崇敬(すうけい)を集めています。社殿(ほんでん)である本殿(ほんでん)と拝殿(はいでん)は、現存する最古の神社建築で、国宝に指定されています。

宇治川の東岸に位置する宇治上神社は、対岸の平等院に正面を向けています。



©宇治市

おもな見どころ

ほんでん 本殿 国宝

平安時代の後期に造営された現存する神社本殿としては最古の建物です。3棟の社殿(しゃでん)を1つの屋根で覆った特殊な形式の建物です。

菟道稚郎子(うじのわきいらつこ)、その父である応神天皇(おうじんてんのう)と兄である仁徳天皇(にんとくてんのう)をまつています。



©宇治市

はいでん 拝殿 国宝

鎌倉時代の初期に造営された現存する最古の拝殿で、創建当初の住宅建築の様式(寝殿造)を留めています。



©宇治市



データ

- 電話番号：0774-21-4634
- 参拝時間：8：00～16：30
- 休 日：無休
- アクセス：京阪「宇治」駅下車徒歩10分
JR「宇治」駅下車徒歩20分



HPはこちら